

石島会計メモ

平成26年3月号



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島洋一

4月改正のイロイロ

4月以降の税務で特に注目されているのは消費税率のアップですが、消費税以外にも変更点がありますので、いくつかご紹介します。

☆☆ゴルフ会員権の売却損失が使いなくなる

バブル期の1990年をピークに、ゴルフ会員権の相場は大幅に下落しました。中には、100分の1程度まで下落したのもあるとされています。高く買ったゴルフ会員権を安値で売れば大きな損失が生じることになりますが、従来であれば、この損失を他の所得と通算（相殺）できました。



たとえば、1,000万円で購入したゴルフ会員権を600万円で売却すると400万円の譲渡損失となりますが、事業で500万円の所得が発生していれば、400万円の損失を差し引いた100万円に税金がかかることとなります。

しかし、平成26年度の税制改正では、このゴルフ会員権の売却損による通算ができなくなる方向で検討されています。ゴルフ会員権は「生活に通常必要でない資産」の範囲に含まれることとされ、その売却で生じた損失について税金は優遇しないとする趣旨です。しかも、平成26年4月1日以後に行う資産の譲渡等に適用されることとされていますので、ゴルフ会員権の売却損を他の所得から差し引くためには、平成26年3月末日以前に譲渡を完了しなければなりません。

税制改正大綱は国会で可決成立したのちに確定となりますが、このゴルフ会員権の売却損に関する改正は成立の可能性が高いと考えられています。今後のゴルフ会員権の相場変動も不透明ではありますが、ゴルフ会員権の売却損で損益通算を検討する場合、平成26年3月31日までに意思決定して実行しなければならないので要注意です。



見極めが必要！

(裏面へ続く)

(表面より続き)

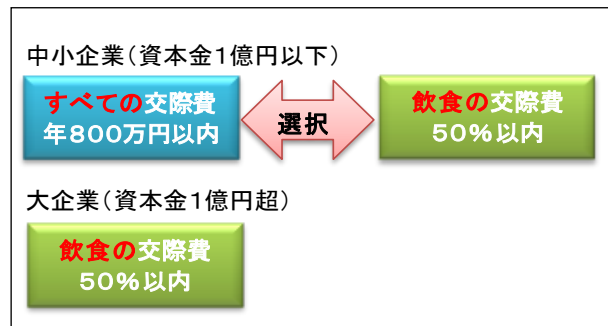


☆☆交際費が使いやすくなる??

資本金が1億円以下の法人については、平成25年4月1日以後に開始する事業年度から、年800万円以内の交際費は経費(損金)として認められています。今回の平成26年度税制改正では、資本金の大小問わず、飲食のために支出した交際費の50%を経費として認めることが検討されています(ただし、役員や従業員等のために支出する社内接待費は含まれません)。

資本金が1億円以下の中小企業では、すべての交際費を年800万円まで経費とするか、交際費のうち飲食のために支出した費用の50%を経費とするかの選択になりますので、よほど飲食接待が多くなければ年800万円の選択をするかと思えます。

ただ、資本金1億円超の大企業は、今まで交際費の全額が経費として認められませんでした。飲食に限るとはいえ50%が経費として認められるようになれば、飲食業を筆頭に経済効果が期待されます。



☆☆領収証の印紙は5万円以上から

一定の文書を作成した場合には、印紙を貼らなければなりません。文書の種類と記載されている金額により印紙代は異なってきますが、この印紙代に変更があります。



ひとつに、「売上代金に係る金銭又は有価証券の受取書」、いわゆる領収証の印紙代の変更があります。従来は、領収証に記載された受取金額が3万円未満であれば印紙が不要とされていましたが、平成26年4月1日以降作成されたものについては5万円未満のものが非課税(印紙不要)とされます。この領収証の金額の判定に関しては、区分記載されているなど消費税額等が明らかとなっている場合には、消費税等を除いた金額で判定することができます。

他にも、不動産譲渡契約書や建設工事請負契約書などの印紙代の軽減がされます。平成26年4月1日以降に作成する文書についてはご注意ください。

上記は平成26年4月以降に予定される変更点の抜粋となります。ご不明な点があれば、石島会計までお問い合わせ下さい。

(文章：石島慎二郎)

走っちゃいました、東京マラソン

石島洋一

今年の東京マラソンは参加申込みをしていたものの、正月に40度近い高熱を出した事情もあり、参加を諦めていました。ところが、直前になると参加しないのはやはり寂しい。マラソン本番の前日になって、反対する妻や娘には、「完走が無理なことは承知しているし、途中からバスに乗るから…」と説得しました。「バス」というのは収容車で、途中の関門の制限時間に遅れた人を「収容」するものです。この会計メモに「**収容バス搭乗記**」を書くのも悪くない、そう思いました。

新宿から日比谷までの10Kくらい走り、あとはバスで、とスタート前は考えていました。ところが、走り始めるとバスには乗りたくない。品川、銀座、浅草の折り返しも過ぎ、浅草橋の30K通過は関門閉鎖の**4分前**でした。次は35K関門。再び銀座を通過して、築地本願寺が35Kです。その時、私の右側を関門閉鎖に立ち会う審判車が通り過ぎて行きました。「これはヤバイ」。



『もっと腕を**フリ**、頑張れ！！』の沿道の声。「そうだ、ここからはフリをしよう。一生懸命のフリをするのだ」。腕を振るのとフリは異なるけれど、吉田兼好の徒然草の中に、「悪人の真似をすれば悪人なり、賢人の真似をすれば賢人なり」と言っている（と、走りながら高度な思考）。一生懸命なフリをすれば良いのだ、**フリをすることだったら私の得意技だ！？**

一生懸命なフリをして、一生懸命走りました…。ところが、銀座を走っていると「あと5分」の声。35K地点の築地までの距離を考えると「もうダメ…」と諦めかけた瞬間でした。ちょっと前を見ると、なんと35K関門があるのです。関門が実際の35K地点よりも大部手前にあったのです。

私は救われました。制限時間の**2分前**、ギリギリの35K関門通過、**一生懸命なフリが効を奏したのです**。そのあとは歩いてでもゴールできる制限時間だったので悠々(?)のゴール。慎二郎とともに4年連続の東京マラソン親子完走劇となりました。楽しかったです。

教訓 一生懸命のフリをしよう

東京マラソン ボランティア体験記

体験者：加藤美智子

昨年度はランナーとして東京マラソンに参加しましたが、今年は抽選に漏れてしまいました。ランナーとしては所長と所長代理、そして昨年の会計メモ2月号でご紹介した株式会社エムエヌスタッフの社長ご夫妻が今年も走るということで、ボランティアとして応援しようと思いました。昨年度初めてのフルマラソンを完走できたのも、ボランティアの方々の励ましがとても力になりましたので、今年は恩返しの気持ちで応募しました。

11月の中旬の申込みで、配置先の第一希望にフィニッシュ地点を選んだのですが、申込みをしてから「フィニッシュ地点では応援出来ない！」と気がつき、「あ～失敗」と少し後悔！でもゴールした人に「おめでとう」と声かけるのも悪くないかなと思直しました。

フィニッシュ地点でのボランティアは、メダル配布係、完走タオルを渡す係、給食（みかんやバナナ）を渡す係などがありますが、配置先は選べません。そして1年半ばに東京マラソン財団より届いた書類に書かれていたのは、『フィニッシュ地点でメダル配布』。これをみたとき、「やった！メダル配布だ！所長達にメダルをかけられる！」と嬉しくなりました。



当日は、9時半に集合し、ラックにメダルを掛けていきます。約80名で、3万5千個ものメダルを掛けていきます(左写真)。それが終わると30分の休憩をはさみ、4時過ぎまでひたすらゴールした人にメダルを掛けていきます。

9時10分にスタートし、早い人は11時半前にゴールです。早くにゴールする人は、「本当に42.195km走って来たの？」というくらい足取りが軽かったです。みんなでハイタッチして、「おめでとう！」と声を掛けていきます。12時40分～3時頃まではゴールした人であふれかえります。ハイタッチするものはばれるほど疲れ切った人たちがだんだん多くなります。

立っているのがやっとの人も。それでも、「お疲れ様です！おめでとう」と声をかけると、笑顔がこぼれてきます。

中には「あなたたちボランティアのおかげでゴール出来ました。ありがとう」と言って下さる方がいて、「やって良かった！」と思えた瞬間でした。他にも、ハグしたり、ほっぺにチューしていく外国の方々もいらして、時間があっという間に過ぎていきました。所長と所長代理、そして株式会社エムエヌスタッフの安藤さんに私の手からメダルをかける事が出来たのも、とっても幸せでした。

同じチームの人たちとも数時間のおつきあいでしたが、また来年も会えると良いねと言って別れました。走れなかったのは残念でしたが、素晴らしい体験ができました。来年また抽選に漏れたら、ボランティアに参加しよう！